

ペアやグループでの活動が制限されている場合には、対話的な学習はできないのかな？

直接、向かい合って話すことだけが対話ではありません。

そもそも「対話的な学び」とは？

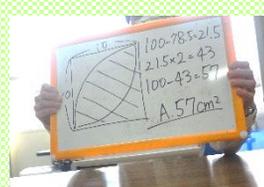
- ①対話を通して(手段)、自己の考えを広げ深める(目的)こと
 - ②子供同士だけではなく、教職員・地域の方々・先哲を相手とすることも有効
 - ③直接話すだけではなく、紙・資料・黒板・タブレット等のツールを用いることも有効
- 新型コロナウイルス感染症対応を考慮するとともに、様々な工夫が考えられます。



【グループでの対話が制限された中での工夫】

【例】ホワイトボードや白紙を用いて意見や考えを発表し、全体で共有します。

- ノートやワークシートを代用することもできます。
- 隣同士で見合ったり、ボードは机の上に置いたまま子供が移動して確認し合ったりすることも考えられます。



板書で活用！
全体に共有！



ボードを確認して終わりではなく、自分の意見や考えが変わったり、深まったりしたことを、子供自身が振り返る場面が必要です。

【全員の進捗状況や意思表示を確認する工夫】

【例】色の異なるカード（裏表で違う色のカードでも可）を用いることで、全ての子供の状況や意思を短時間で把握することができます。

- 1セットあれば、様々な教科や場面で活用することができます。
- 意思表示させたまま終わるのではなく、教師が内容等を具体的に聞き出し、それを全体で共有したり、個別に対応したりする必要があります。



- ◆わかりました。
- ◆できました。
- ◆賛成です。
- ◆アだと思います。



- ◆悩んでいます。
- ◆途中で。
- ◆どちらとも言えません。
- ◆イだと思います。



- ◆わかりません。
- ◆できません。
- ◆反対です。
- ◆ウだと思います。



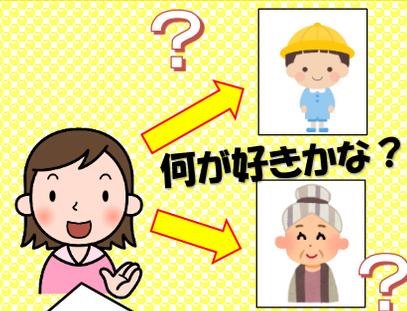
可否、賛否、選択等、教師の発問によって様々な活用が考えられます。

国語・外国語・外国語活動等

対話が目的となる学習での工夫

【例】写真や人形を目の前に置き、相手意識をもって発表や説明をしたり、コミュニケーションをとったりします。

→相手を子供自身が想定することで、主体性をもたせることができます。



何が好きかな？

「相手意識をもつこと」の必要性や重要性を教師が説明することが大事です。

Hi ○○○,
Do you like △△△?